



—昭和大学歯科病院の理念—

患者本位の医療
先進医療の推進
良き歯科医師の育成

発行責任者 病院長 榎 宏太郎
編集責任者 広報委員長 丸岡 靖史
〒145-8515 東京都大田区北千束2-1-1

TEL 03-3787-1151 (代表)

ホームページ: <http://www.showa-u.ac.jp/SUHD/index.html>

心に余裕を

歯内治療科 科長 鈴木 規元

今年の桜はずいぶん早くに満開となり、4月の初めにはすっかり葉桜になってしまいましたが、皆様お花見には行かれましたでしょうか。私の自宅の近くには、知人ぞ知る立派な桜並木があり、毎日通勤途中にお花見を楽しんでおりました。散っていく桜の花びらを見ると、どこか切ない気持ちになります。美しい桜のあとにやってくる新緑の季節もまた捨てがたいものがあります。私が新緑の美しさに目を留めるようになったのは、アメリカ留学時代です。研究所の前に広がる一面の芝生と木々の鮮やかな緑は、まぶしくて目が痛く感じる程でした。それまでは桜や紅葉をきれいだと思うことはあっても、新緑に目を奪われることはありませんでした。海外での生活をきっかけに、何気ない自然の美しさに気づくことができるようになった気がします。忙しい毎日に追われ、なかなか周囲に目を向ける意識をもつことが難しいのが現状ですが、自然の変化に敏感に気づくことのできるような心の余裕を常にもってみたいと、日々自戒しております。皆様も日々の生活の中で時折ちよっと立ち止まり、周囲に目を向けてみてはいかがでしょうか。思わぬ発見があるかもしれません。

さて、私が所属しています歯内治療科は、歯の根(神経)の治療を専門としている診療科です。歯の根の治療が必要となる歯の病気は主にむし歯が原因で起こります。口の中の細菌が食物の糖分を利用して酸を作り、歯の表面を溶かしていくのがむし歯です。むし歯は歯の外側を覆っているエナメル質から溶かし始め、進行するとその内側にある象牙質からさらに歯髄とよばれる歯の神経

にまで到達します。進行したむし歯によって歯髄に炎症が起きた状態を歯髄炎といいます。歯髄炎は強い痛みを生じる場合と痛みがほとんどない場合とがありますが、



いずれも歯髄の炎症が回復しないレベルにまで進んでしまったときには、歯髄を除去する(神経を取る)根の治療が必要になります。この状態で治療を受けずに放置してしまうと、歯髄の炎症はさらに進み、いずれ死んでしまいます。この状態では痛みはありませんが、死んだ歯髄をそのままにしておくと、むし歯の細菌が根の中にまで入り込み、根の先に膿をもってくるようになります。このように根の中の細菌感染によって根の先に炎症が起きた状態を根尖性歯周炎といいます。根尖性歯周炎も強い痛みを生じる場合と痛みのほとんどない場合があります。根の治療によって根の中の細菌感染を除去することにより、通常、根尖性歯周炎は治癒に向かいます。

いずれも原因となるのは口の中の細菌ですが、口の中には常に細菌がたくさん存在しており、残念ながらゼロにすることはできません。しかし、細菌が利用する糖分が歯の表面に残っていなければ、むし歯を予防することが可能になります。それには、やはり毎日のブラッシングが重要です。根の治療が必要にならないように、心に余裕をもって、まずは日々のブラッシングに目を向けてみていただければと思います。



歯内治療科 紹介

歯内治療科 診療科長補佐 八幡 祥生

私たち歯内治療科は、当院4階西診療室内にあり、いわゆる“歯の根の治療、神経の治療”とよばれる治療を担当させていただいております。

歯内治療とは、“歯の神経が入っていたところ、すなわち根管”の中から歯の神経、細菌または汚れなどを除去して、歯の中をきれいにしていく治療です。

主に歯の内側を治療するので、被せものを入れたりする治療と異なり、患者さんご自身では、治療前後の口の中の変化がわかりにくいかもしれません。しかし、この治療は痛みや腫れといった症状の軽減のみならず、治療後に例えば差し歯を入れて噛めるようにした歯を、長期にわたって機能させていくために重要な処置であり、歯を残すための基礎工事とイメージして頂くと良いかもしれません。

私たちの診療科の大きな特徴の一つに、歯科用実体顕微鏡(マイクロスコープ)を臨床に積極的に応用していることが挙げられます。マイクロスコープを使用した歯内治療は、数多くのメリットを有していますが、中でも肉眼では確認できなかった歯の内部構造や感染源を拡大下で明らかにし、歯を保存できる可能性が広がったことが一番大きいと考えます。また逆に、歯根破折(歯のひび)などの抜歯が適応となる疾患を早期に発見し、無駄な治療を続けることを避けられるようにもなりました。私たちは、十数年前、日本における黎明期といえる時期から、臨床に導入し研鑽を積んできており、現在では、マイクロスコープの台数や稼働率は、歯内治療を専門とする外来の中で国内有数の規模となっております。

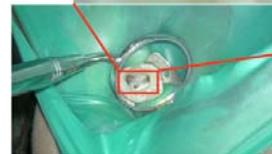
また、当科のもう一つの特徴として、近隣の先生方から多くの患者さんをご紹介いただいていることが挙げられます。昨年度は、当科を初めて受診された方の半数以上が近隣の歯科医院からのご紹介でした。通常の治療では治りが悪い歯や処置が困難な歯を中心に、当科へご紹介をいただけてい

ることは、かかりつけ医との連携において、私達が専門性を担保した治療を行っている、御信任頂いているからではないかと思っております。

一本一本の歯を、しっかりと残せるように診療に従事しておりますが、その反面、一回の治療時間が長くなってしまう、予約が取りづらいなど、ご不便をおかけしていることもあると思います。しかし、これから歯を永く安心して使っていただくために、当科での治療をお知り置き頂ければ幸いです。



歯内治療科外来



マイクロスコープ下での歯内治療 左下写真の赤枠内を拡大することで、より精度の高い治療が可能となる



歯内治療科医局員

当診療科は、2004年に審美的先進医療の提供とお口の健康増進を目的として日本最初の美容歯科として開設されました。

具体的な診療内容は審美歯科治療(白い被せ物、歯のホワイトニング、歯のマニキュア、歯肉のピーリング、リップマッサージなど)を中心に、一般的なむし歯の予防と治療を行っています。

美容歯科を受診されましたら、むし歯、歯周病の診査、必要に応じてエックス線検査、さらに口腔衛生状態も確認し、治療計画を立てて診療を開始します。そして、白い歯や審美的な歯の形にしたい方には、カウンセリングを行い、患者さんのニーズに沿って診療を行っていきます。(保険適応と適応外の治療があります。また患者さんの口腔内状態によっては行うことが出来ない治療もあります。)

むし歯治療は、出来るだけ歯を削らない方法(最小限の侵襲:ミニマルインターベンション:MI)を心掛けています。そのため当科では歯に白いプラスチック材料(コンポジットレジン)を強固に接着させる研究を行ってまいりました。新規の様々な歯科材料が開発されており、セラミック材料やジルコニア等も以前に比べて耐久性も向上し、以前は金属でしか治せなかったものが、今では歯と同様な色で治すことが可能になり、患者さんの選択肢も広がりました。

むし歯の予防管理や歯のホワイトニングは、歯科衛生士と協力して行っています。口臭測定、細菌数検査、唾液検査なども導入し、患者さん自身のセルフケアにも役立てていただこうと思っています。ホワイトニングをすることで自身の口腔内状態に関心を抱かれる患者さんが多く、同時にむし歯予防にもつながるものだと考えております。当科には日本歯科審美学会認定のホワイトニングコーディネーターの資格をもつ歯科衛生士が在籍し、施術を行っています。

ご希望ご興味のある方は、お気軽に歯科医師、歯科衛生士にご相談ください。



治療前(金属の被せ物)



治療後(セラミックの被せ物)



細菌カウンター



サリポリマーマルチテスト



オフィスホワイトニング施術中



美容歯科スタッフ

新入職員ご挨拶

私は、この研修を通して歯科医師としての基礎的な技術の進歩と患者さんとのコミュニケーション能力の向上を目指していきたいです。

臨床研修歯科医師 飯泉 嘉基

1年の研修期間で先生方からしっかり学びながら、昭和大学の理念に則り治療に携わって行きたいと思います。

臨床研修歯科医師 井上 湊太郎

社会人としての自覚を持ち、自己研鑽に努め、患者さん一人一人と真摯に向き合いたいと思います。

臨床研修歯科医師 畑 佑梨歌

初心を忘れることなく、先生方のご指導のもと同期の仲間と切磋琢磨しながら患者さんに誠意をもって向き合いたいと思います。

臨床研修歯科医師 松元 花奈



臨床研修歯科医師 オリエンテーションの様子

初心を忘れず、人との出会いを大切に、日々頑張っております。宜しくお願い致します。

歯科衛生士 岩崎 知美

1人でも多くの患者さんに笑顔で帰っていただけるよう常に向上心を持ち努力していきます。

歯科衛生士 大迫 彩夏

真摯に患者さんと向き合える歯科衛生士になれるよう、日々努力して参りたいと思います。

歯科衛生士 栗野 友梨子

病院の一員としての自覚を持って、日々向上心を忘れず、励んでいきたいと思っております。

歯科衛生士 佐藤 夏澄

患者さんのQOLの向上をサポートできるよう、日々研鑽を積んでいきたいと思っております。

歯科衛生士 篠木 悠美

患者さんへの思いやりの心を常に忘れず、一日一日を大切に日々精進していきたいです。

歯科衛生士 長谷川 真夕

一日でも早く歯科衛生士として患者さんや皆さんのお役に立てるよう頑張ります。

歯科衛生士 松田 梢



編集後記

今年の春は桜が早く開花し、散ってしまうのも早かったため、お花見に行きそびれてしまいました。桜に関連してですが、桜餅の形が関東地方と関西地方で全く異なることを最近発見し、驚きました。私は、関西の桜餅「道明寺」が好きですが、皆様は関東の「長命寺」とどちらがお好きですか？どちらにせよ、甘いものを食べた後はしっかり歯磨きしましょうね！
(S.W)

昭和大学歯科病院からのお知らせ

● 平成30年1月より、診療時間に変更となりました。

診療時間 8:30~17:00 (月曜日~土曜日)

初診受付 8:30~11:30、13:00~15:00

※診療科により時間が異なります、詳細はお問い合わせください。

昭和大学歯科病院 地域歯科医療連携室 電話 03-5498-1954(直通)